

からだの痛みに関する調査研究
(産業界における慢性疼痛の実態調査研究)
ご協力のお願い

研究責任者 小杉 志都子 慶應義塾大学医学部 麻酔学教室
分担研究者 松平 浩 東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター
柴田 政彦 大阪大学大学院医学研究科 疼痛医学寄附講座

1 研究目的

腰痛や頭痛、肩こりといった慢性的な痛みは、多くの人が悩まされているにもかかわらず、医学的なケアは不十分です。慢性疼痛は急性疼痛と違ってなおりにくく、外傷のような外的要因だけでなく、ストレスなどの心理社会的要因によっても増強されることがわかっています。また、慢性的な痛みは身体的な活動制限だけでなく、抑うつなどの精神面での悪影響を及ぼし、日常生活の質（以下、QOL）や仕事における生産性を著しく低下させます。

これまで行われた大規模な疫学スタディから、日本における国民全体の慢性疼痛の有症率は約 13～15%とされており、年間の経済的損失は約 3700 億円で、精神疾患の次に大きいとされています。しかしながら、特定の企業や職場に限局した慢性疼痛に関する詳細な調査は、これまで日本国内では行われておりませんでした。そこで、われわれは皆様に対して質問表による調査を行い、慢性的な痛みが仕事の生産性や QOL の低下にどの程度の影響をあたえているかについて検討したいと考えております。

2 研究協力の任意性と撤回の自由

ご協力いただくかどうかは、任意であり、ご本人の意思によってのみ決定していただくことです。ご協力いただけない場合でも、ご自身が不利益を受けることは一切ございません。また、一度ご同意いただけた場合でも、いつでもそれを撤回することが可能です。ただし、研究が公開されてから申し出の場合、実質上、対象から除外することができませんので、あらかじめご了承下さい。

3 研究方法・研究協力事項

自己記入式アンケートによる質問票で、ご自身の生活・仕事、日常感じているストレス・からだの痛みなどについて質問させていただきます。質問をよく読み、回答を回答用紙に記入してください。回答用紙の返送をもって、調査のご協力に同意していただいたものとさせていただきます。診療所の健康診断結果および健康保険組合の資料から、皆様の年齢・性別・身長・体重・最終学歴・運動習慣・業務種別・年間医療費のデータをご提供いただきます。その際、個人が特定される情報は使用致しません。集計の結果は統計学的分析結果と共に、皆様にお伝えいたします。

4 研究協力者にもたらされる利益および不利益

アンケートによる調査のみですので、研究に協力することで不利益が起こる可能性はありません。

5 個人情報の保護

個人が特定できるような情報は用いません。また、情報の管理は新しく割り当てる番号に基づいて行うことで、情報の匿名化を行います。研究者は通し番号に応じた情報で研究を行うことといたします。結果の公表の際も個人情報につながる情報は一切使用いたしません。

6 研究計画書等の開示

協力者ご本人様が請求された場合は開示させていただきます。ご本人以外の方からの請求の場合は、応じ兼ねますのであらかじめご了承ください。

7 協力者への結果の開示

協力企業のアンケートの集計結果は考察をふまえて、その企業内の職員全員に開示させていただきます。協力者ご本人様からの結果の開示を請求していただいた場合、ご本人様の結果のみ開示させていただきます場合がございます。ご本人以外の方からの請求の場合には、応じ兼ねますのであらかじめご了承ください。

8 研究成果の公表

研究の成果は学会や論文等で公表させていただきます。その際、会社名や個人が特定される情報は一切使用いたしません。

9 研究から生じる知的財産権の帰属

研究から生じる知的財産権は協力者の方には帰属いたしませんので、予めご了承ください。

10 研究終了後の試料取扱の方針

研究終了後、蓄積した情報は完全に消去させていただきます。研究期間内または終了時に新たに研究を追加する必要が出てきた場合は、情報を保存し、改めて倫理委員会の申請・承諾を得ることといたします。その際、情報は匿名化したまま保存し、研究者は通し番号に応じた情報のみで研究を行います。

11 費用負担に関する事項

研究を行う上で必要となる資金は公的な研究費でまかなわれます。協力者の方に費用を負担していただくことはありません。

12 問い合わせ先

慶應義塾大学医学部 麻酔学教室 (03-5363-3810)
若泉 謙太